

14-1 漁業及び増養殖【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1、Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 漁業就業者減少によって労働力が不足しているが、漁労作業において不足する労働力を補うための省力化の技術について、具体例を3つ挙げてその内容について述べよ。

Ⅱ-1-2 内水面漁業の振興に関する法律が施行されたが、内水面における水産資源の増殖を推進するための生息環境改善手法について、具体例を2つ以上挙げてその内容について述べよ。

Ⅱ-1-3 海洋汚染を引き起こすマイクロプラスチックについて、その概要と対策について述べよ。

Ⅱ-1-4 漁業・養殖業において、収益性の向上等を目指した新たな技術開発について、その事例を2つ挙げてその内容について述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 干潟は生育の場を提供するなど水産資源の増殖に寄与する重要な役割を果たしているが，近年その機能が低下している。そこで「藻場・干潟ビジョン」に基づいて多様な主体の参画を得ながら干潟再生事業を行うことになった。あなたがこの事業実施の担当責任者として事業を進めるに当たり，対象とする底質改善の手法を１つ挙げ下記の内容について記述せよ。

- (1) 底質改善手法決定に当たって検討すべき事項
- (2) 事業実施の手順
- (3) 事業実施後において留意すべき事項

Ⅱ－２－２ 養殖場において大量減耗が発生した。あなたが養殖の担当責任者として対策を実施するに当たり，１つの魚種を例に挙げ下記の内容について記述せよ。

- (1) 大量減耗に当たっての対応手順
- (2) 原因特定のための調査手法
- (3) 対応策とそれを実施するに当たっての留意事項

14-1 漁業及び増養殖【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1、Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 近年、スケトウダラやホッケ、スルメイカなどが不漁となっており、この原因として地球温暖化等の影響などが指摘されている。こうした状況を踏まえて、沿岸漁業に関して、下記の事項について記述せよ。

- (1) 地球温暖化等の影響下にある沿岸漁業について、その現状と技術的課題を述べよ。
- (2) 沿岸漁業のうち1つの漁業種類を取りあげ、上記で述べた技術的課題のうち最も重要な課題を抽出して、その課題解決のための対応策を提示せよ。
- (3) あなたが記述した対応策を実施した場合の効果とリスクについて述べよ。

Ⅲ-2 内水面給餌養殖及び海面給餌養殖における養殖方式の1つである網生簀養殖に関して、下記の事項について記述せよ。

- (1) 内水面又は海面における網生簀養殖について、その現状と技術的課題を述べよ。
- (2) 上記で述べた技術的課題のうち重要と考える課題を2つ抽出して、その課題解決のための対応策を新技術も含めて提示せよ。
- (3) あなたが記述した対応策を実施した場合の効果とリスクについて述べよ。